

良い品の多収にはPK化成を！



PKマグ32

りん酸

加里

苦土

マンガン

ほう素

10-12-10-2-0.05



土づくりで明日の農業を支える

朝日化工株式会社

粒状20kgポリ袋

PKマグ32

味の良い作物を多収穫するには、不足しがちな“実肥であるりん酸”と“根肥である加里”をうまく補給する事が大切です。そこで新しく登場したPKマグ32は元肥・追肥に利用出来て作物の生育に必要なバランスのとれた栄養補給が出来ます。

また、この肥料には、りん酸、加里の他に作物の生育上必要な要素である苦土、マンガン、ほう素が含まれていますので地力の増強や各要素の欠乏症を軽減し、異常気象・病害虫などに対する抵抗力を高めます。

特長

○ 水 稲

- PKマグ32は根の発育を促進し、深根性となって養分の吸収を助けます。
- 健全な茎葉と子実の肥大を促進し、稔実歩合を高めます。
- 苦土が含まれていますので、初期生育を旺盛にすると同時に苦土欠乏の現象を軽減します。
- ほう素が含まれていますので、開花期の受精を良くし、糖分の移動を助け稔実歩合を高めて良質米の増収に役立ちます。(幼穂形成期)

○ 果樹・果菜類

- PKマグ32を施用しますと着花、子実の充実、着色、甘味の増加、結実等が良くなります。
- 窒素の過剰吸収を抑え、生育を順調にし、収穫物の品質を向上させ、収量の増加が期待できます。

施肥例 (10アール当り)

作物名	施肥時期	施用量 (kg)	備考
水稲	田植 20日前頃	40～50	L型肥料の多用に伴う“りん酸”“加里”不足に
	出穂 30日前頃	20	
麦・豆類	元 肥	40～60	窒素分が多く根粒菌の活動が弱くなった圃場に
	追 肥	20	
野菜類	元 肥	40～60	葉の光合成活動や“りん酸”の吸収を助け根の伸長や着果促進、品質向上に
	追 肥	20～40	
果樹類	元肥・追肥	40～60	窒素分を多く施した場合はPKマグ32の施用量も増やすようにして下さい

※上記は標準施用量ですので、作物や天候・土壌条件等により加減して下さい。

※従来の元肥と併用して下さい。詳しくは販売店とご相談下さい。

製造元



土づくりで明日の農業を支える

朝日化工株式会社